

# ハザードマップ（レイヤー付きPDF）の使い方

2021年3月

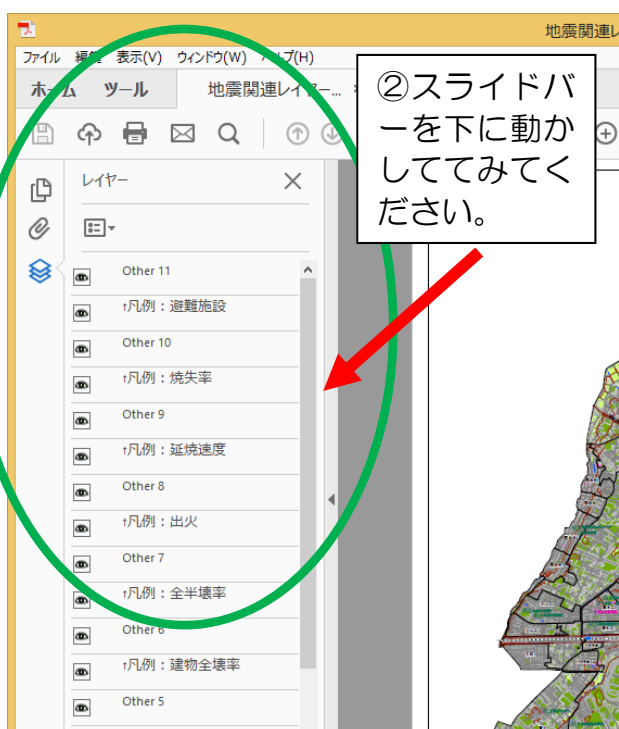
## 1. ファイルのダウンロード

レイヤー付きPDFは、データの量が大いため、まず、ダウンロードをして、ダウンロードしたファイルを開いてください。

ダウンロードの仕方は、ダウンロードするファイル名の上にカーソルを移動させて右クリックして「対象をファイルに保存」を選びます。

保存したら、保存したファイルを開いてください。

## 2. レイヤーの表示と選択

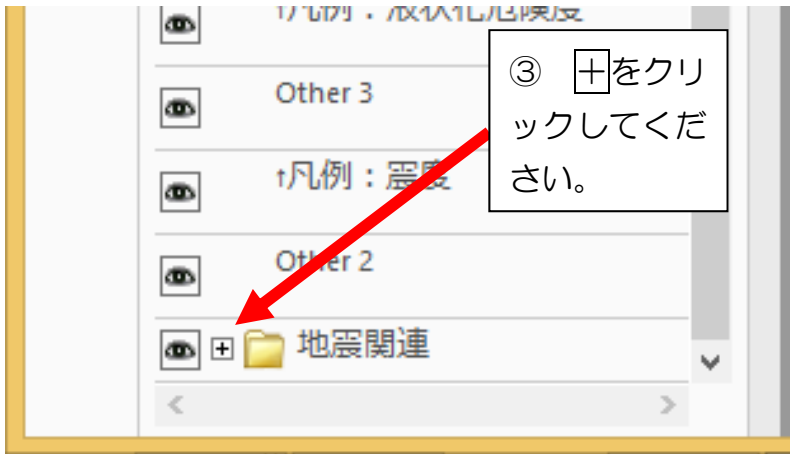


最初は、全てのレイヤーが表示されているため、とても地図が見にくいです。

見たいレイヤー以外のレイヤーを消す必要があります。

レイヤー名の左側に「目の絵」のアイコンがあります。それをクリックして「目の絵」を消したり、表示したりすると、地図上のレイヤー（色のついた地図や、名称、アイコンなど）が消えたり、表示されたりします。

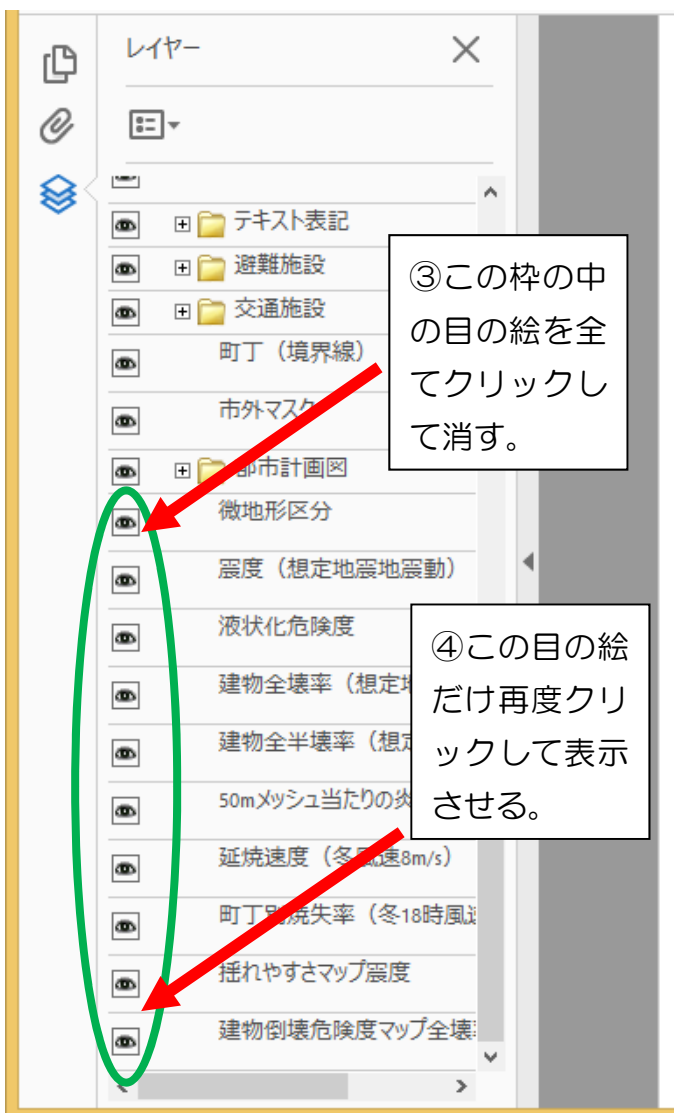
試しに、揺れやすさマップを表示してみたいと思います。



スライダーを下に動かすと、地震関連というフォルダーが表示されます。

この地震関連のフォルダの右側にある+をクリックしてください。

クリックしたら、またスライダーを下に動かしてください。



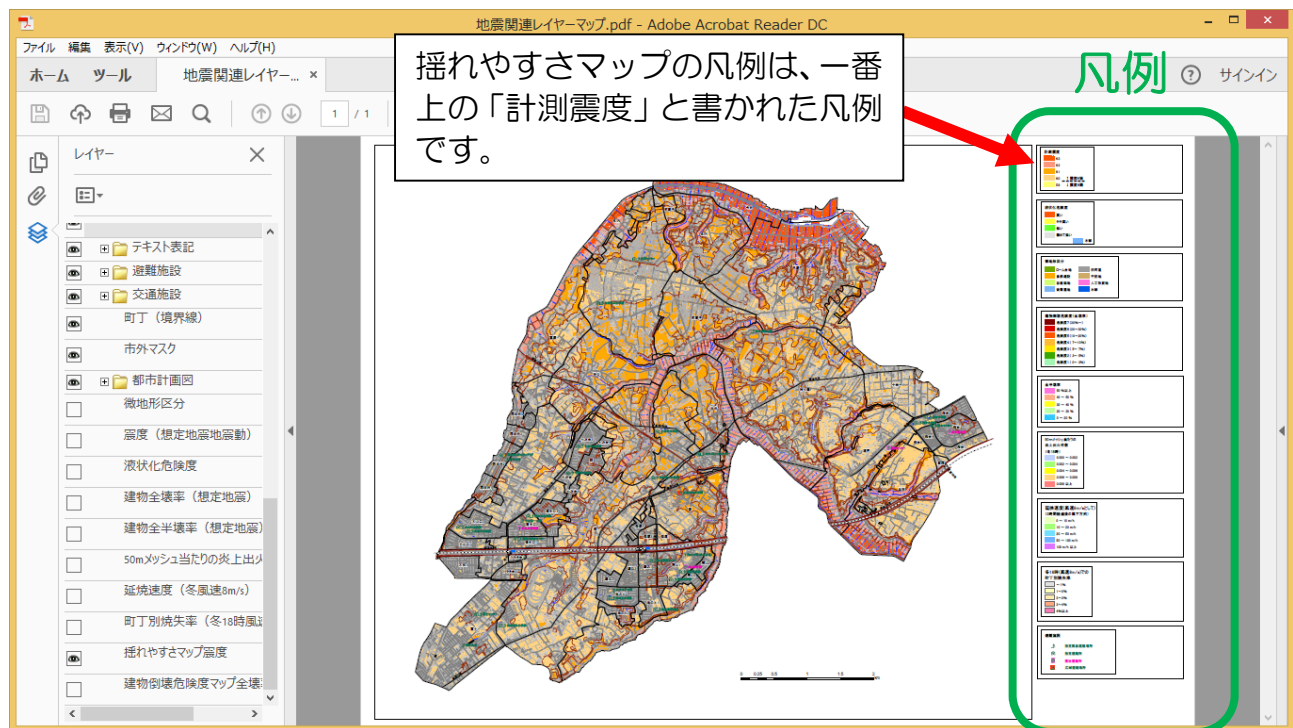
地震関連のフォルダーの下に隠れていたレイヤー名が表示されたと思います。

次に、「微地形区分」～「建物倒壊危険度マップ全壊率」までのレイヤー名の右側の「目の絵」を全てクリックして、「目の絵」を消してください。

次に、揺れやすさマップを表示するため、「ゆれやすさマップ震度」の右側だけをもう一度クリックして「目の絵」を表示してください。

これで、他の地震関連のレイヤーが消えて、揺れやすさマップが表示されます。

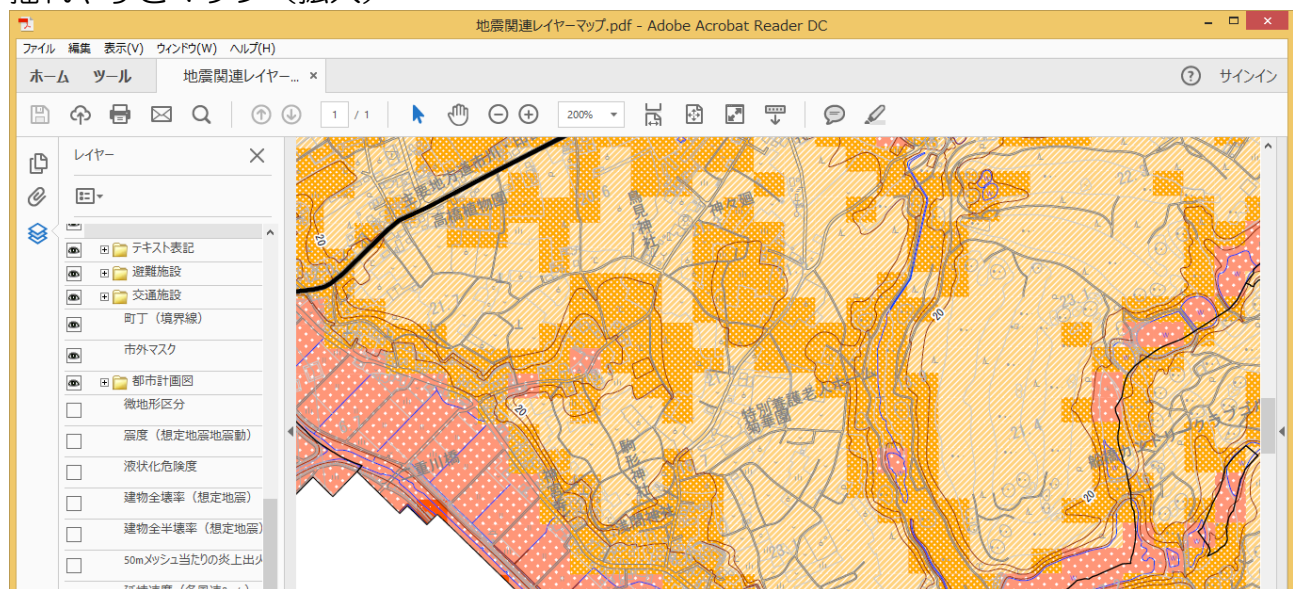
## 揺れやすさマップ



まだ、見にくいですね。見にくいのは、道路などの線が多く表示されているためです。地図を拡大してみてください。

(凡例は、右側に表示されていますので、地図の色と凡例を見比べてみてください。)

## 揺れやすさマップ (拡大)



他にも、不要な線を消したり、名称を消したりできますので、「目の絵」のアイコンや「+」のアイコンを、消したり表示したり、色々と試してみてください。

この地図で表示される「揺れやすさマップ」や「建物倒壊危険度マップ」などは、防災アセスメント調査結果を表示したものです。

それぞれの説明は、防災アセスメント調査結果に書かれていますので、あわせて確認してみてください。